

# Libra | on

vol. 35

りぶらいおん

<http://www.libra-sc.jp>

特集：① LSCの新キャラクターを紹介！  
②りぶらまつり 2014 開催報告



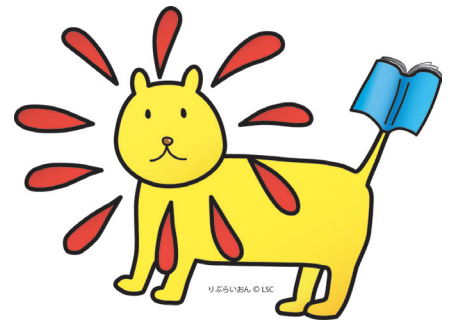
- りぶら中央図書館情報
- 私の一冊 vol.30
- りぶらの防災



# りぶらサポータークラブの 新キャラクターを紹介します！



僕は「りぶらいおん」。りぶらの設計ワークショップで、当時中学生の子たちから生まれたよ。「つながりんぐ」の言葉は、当時のワークショップ責任者の延藤安弘先生から。マークは、現「岡崎まち育てセンター・りた」事務局長の天野裕氏からのプレゼントです。6年間、一人でやってきたけど、やっと仲間ができたので、紹介します。



## 『しねまんくすきゃっと』

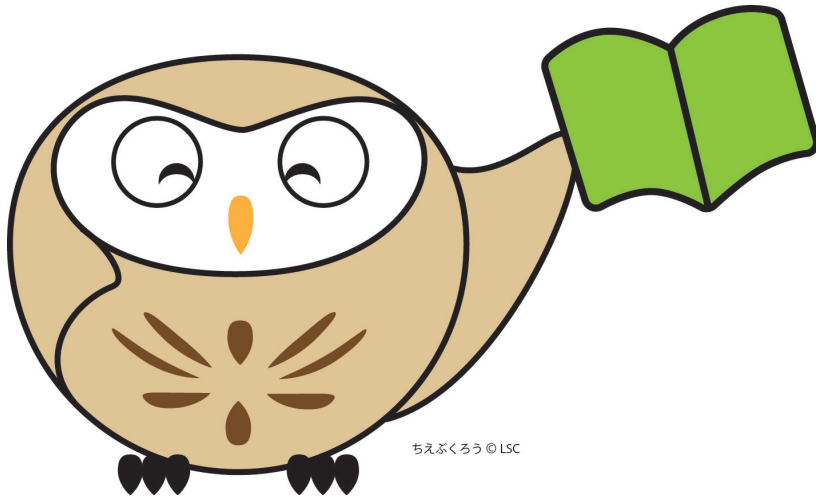
「シネマ・ド・りぶら」のキャラクター



しねまんくすきゃっと © LSC

やっほう。こんにちは！僕はマンクスキャットの「しねまんくす」だよ！僕はイギリスにあるマン島出身なんだ。オートバイのレースで有名なんだけど、マン島には、僕みたいにしっぽの短いちょっとウサギみたいな猫がいるんだよね。遠い親戚にはMGMのライオンおじさんもいるんだけどさ。希少種の僕が、希少な映画をたくさん紹介していくね！  
お楽しみに～!!!!

## 『ちえぶくろう』「図書館」のキャラクター



ちえぶくろう © LSC

ほほほほ。ほうほう。わたし、図書清掃と書架整理担当のちえぶくろうです。みなさん、ふくろうって知恵の神様だっ  
て知ってる？ ミネルバっていう名前もあるのよ。皆さんが気持ちよく図書館を利用して、知恵袋を大きく広げ、中身をしっかり詰めて行けるように、これからも応援するわね！ 本はみんなの財産だから、大事にあつかってあげてね！

## 『まなびーばー』

## 「りぶら講座」のキャラクター

ども！ 生涯学習担当のまなびーばーっす！ お堀通りに生息してるんで、気になる人は探してみ  
てほしいっす！ 特技は前歯を使って鉛筆を削ることっす！ みんなの学びをしっかりサポートするんで、よろしくっす！ 学びっていうと勉強っ  
て感じになっちゃう人もいるけど、生涯学習はどっちかってえと、遊びの延長なんでよろしく！

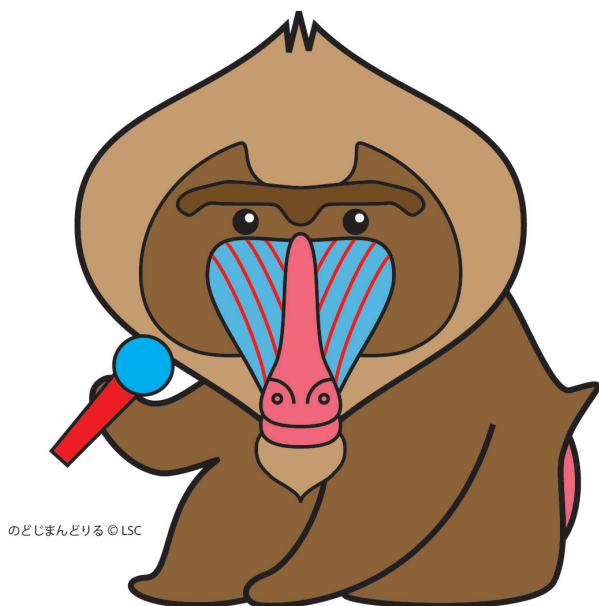


まなびーばー © LSC

## 『のどじまんどりる』

## 「外国人が日本語の歌を歌うのど自慢大会」のキャラクター

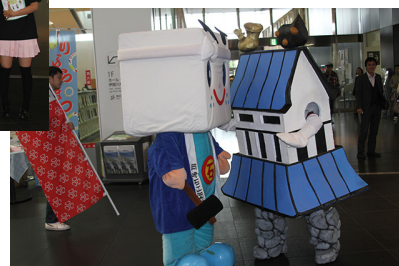
あー、えー、ごほんごほん。え？ もうマイクは  
いってんの？ あー、どうも。えー、それでは私の十八番を……え？ いま歌っちゃだめなの？  
あいさつだけなの？ うわぁ残念だ。自慢ののどを、ご披露しようと思ったのに……。まーでも、  
あれですね。歌はいいですね。歌は世界の共通語！  
これからも、歌の力でみんなをつなげていきま  
んどりる!!!



のどじまんどりる © LSC



# りぶらまつり 2014 レポート



## 集まれ!! みんなで交流しよう

11月の15日(土)・16日(日)。第6回目となる「りぶらまつり」が開催されました。今年のテーマは「集まれ!! みんなで交流しよう」でした。りぶらのテーマである市民の交流と生涯学習へのきっかけ作りの場となるように、さまざまな企画が展開され、多くの市民が楽しい2日間を過ごしました。

幕開けは、Beanzzの楽しく賑やかな演奏。そして、文化芸術部石川部長の挨拶と、「おかぷろ」実行委員長の開会宣言で2日間のりぶらまつりが始まりました。館内の会議室やホールはもちろん、お堀通りを含む全館で、りぶらで活動する市民団体や様々な分野の実行委員が、工夫を凝らした企画を展開しました。

また、これまでのりぶらまつりで行われていた「りぶらいおんこねぶた」のパレードに代わり、動く「りぶらいおん」が登場! いろいろな企画の案内をしながら、ホールのステージでは「おかぷろ」の皆さんとともに、岡崎の紹介をしました。そして、「岡崎応援キャラクター隊」のつぶさん・クジ夫くん・てんかくん、まめ吉・フジ犬くん・みそざきくん・団吉くんとさくらホームルーム&岡崎 miso 娘がまつりを盛り上げてくれました。



## 【りぶらまつり 2014 の記録】

来館者数	15日	6,113人
	16日	6,202人
	合計	12,315人
実行委員団体数	47	
プログラム数	52	
実行委員参加スタッフ数	430人	
ボランティア数	23人	
ストリート広場出店者数	7店	
おみくじ(スタンプラリー参加者)	834人	
寄贈景品	719点	
りぶらグッズ景品	115点	
説明会参加人数	48人	
実行委員会参加者人数		

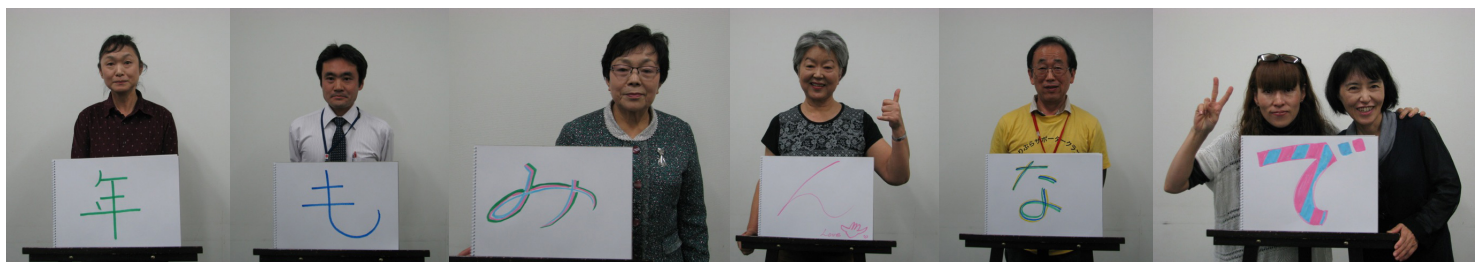
① 48人 ② 54人 ③ 67人 ④ 66人 ⑤ 33人

次年度も、6月の説明会から「りぶらまつり 2015」の準備が始まります。企画の段階から運営面でのサポーターを募集しています。興味と関心のある方は、りぶらサポータークラブの事務局に、ぜひ声をかけてください!!

【りぶらまつり 2014 の記憶 (アルバム)】はホームページで <http://www.libra-sc.jp>



実行委員からの  
メッセージ





## りぶら中央図書館情報

### ティーンズファンタジーコーナーを作りました！

中高生にもファンタジーの本を気軽に手に取ってもらえるよう、中央図書館2階ポピュラーライブラリーのティーンズコーナーの一角に、『ティーンズファンタジー』コーナーを作りました。コーナーを作ってから、あまり利用されていなかった本も借りられるようになったと感じています。

『ティーンズファンタジー』コーナーには、「ハリー・ポッターシリーズ」(J. K. ローリング)や「獣の奏者」(上橋菜穂子)など、映画化やアニメ化された作品も置いてあります。シリーズや長編ものが多いファンタジーですが、一度読んでみるとおもしろいかもしれませんよ。中高生だけではなく、ファンタジーを読んだことがない人も、この機会にファンタジーの世界を楽しんでみてはいかがでしょうか。

担当：中央図書館 資料提供サービス班



2階ポピュラーライブラリー 棚番号52



ティーンズファンタジーコーナー

### レファレンス事例集

今年の家康公顕彰四百年の節目の年です。

家康公の残した歴史上の功績についてのレファレンス事例を紹介します。

質問	徳川家康と囲碁の関わりについて調べたい。
回答	囲碁の歴史の本や書誌データベース等で検索して関係する本【資料1～6】を紹介。 【資料7】は、囲碁の歴史を確認するために紹介。また、新聞記事検索のデータベース「聞蔵II」で、“徳川家康”“囲碁”のキーワードで関連新聞記事を紹介。
キーワード	「徳川家康」、「囲碁」+「歴史」
参考資料	<p>【資料1】『碁打ち・将棋指しの江戸』増川 宏一・著／平凡社／1998年／796.0 コ</p> <p>【資料2】『史伝健康長寿の知恵 2』20-23 p／宮本 義己・編纂／第一法規出版 498.3 シ2</p> <p>【資料3】『囲碁文化の魅力と効用』藁科 満治・著／日本評論社／2008年／795 イ</p> <p>【資料4】『日本遊戯史』増川 宏一・著／平凡社／2012年／384.8 二</p> <p>【資料5】『囲碁史探偵が行く』福井 正明・著／日本棋院年／2008年／N795.0 イ</p> <p>【資料6】『碁一ものど人間の文化史 59』121 p／増川 宏一・著／法政大学出版局 1987年／795 コ</p> <p>【資料7】『国史大辞典 1』482-483 p／国史大辞典編集委員会・編／吉川弘文館／1,979年／210.0 コ (参考図書)</p> <p>*データベース「聞蔵」は、朝日新聞の新聞記事を「検索」、「印刷」できる有料データベースですが、図書館内では無料で「検索」、「印刷」(印刷代は必要)することができます。</p>



## ジャズ講座 「佐藤允彦・60年代のジャズを語る、弾く ～ジャズがマグマだった時代～」



2014年度の第2回目となるジャズ講座では、世界的に活躍されているジャズピアニスト・作曲家にして、CD「内田修ジャズコレクション」の監修者でもある佐藤允彦氏を講師としてお迎えします。日本のジャズシーンが熱く燃えたぎっていた60年代を、その真っ只中で活躍していた佐藤氏が読み解く、知的好奇心を刺激する講座となっております。講座後半にはミニライブも開催します。是非とも足をお運びください。

日程：平成27年1月17日 土曜日

開講：16時（開場15時30分）

場所：図書館交流プラザ Libra ホール

入場料：2,000円（全席自由）

チケット取扱所：図書館交流プラザ2階総合案内 TEL 0564-23-3100

チケットぴあ（Pコード243-464）TEL 0570-02-9999

担当：中央図書館企画班



### 私の一冊 vol.30

#### 「アルジャーノンに花束を」

自分は図書館という施設の中に勤めながらも、恥ずかしながら両手で数えられるぐらいの冊数しか、小説を読み終えた経験がありません。話題になった小説をとりあえず読んでみることはありますが、いつも飽きて詰んでしまいます。この「アルジャーノンに花束を」という作品は、読書不精な自分が完読した数少ない一冊です。明るく楽しいストーリーではありませんが、主人公の孤独や心の叫びが深く胸に突き刺さるこの一冊を紹介させていただきます。

主人公のチャーリー・ゴードンは31歳という年齢でありながらも、幼児程度の知能しか持たない重度の知的障がい者です。ある脳外科手術を受けることで知能が急激に発達し、IQ185の大天才へと変貌をとげることになります。この物語はチャーリーの成長や心情を、彼が記した「経過報告」という手記を追っていくという形式を取っているのですが、最初のページを開くと驚くことに、誤字・脱字・平仮名がぐちゃぐちゃに入り混じった、「経過報告」ならぬ「けえかほうこく」なる、非常に読み難い手記が目飛び込んできます。

これは前述した彼の幼児程度の知能を示唆しているのですが、頑張ってページをめくっていくと、術後から日を追って彼の知

能は上昇し、落ち着いた文体や整然とした意見が見られるようになっていきます。知能の向上を感じ、これでやっと自分も周りのみんなとおしゃべりに参加できるのだと喜ぶチャーリー。しかし、知性がもたらしたものは光だけではなく、同時に彼の心に深い闇を落とすこととなります。

かつては、周りの人々に馬鹿にされることはあっても他人を憎まず、疑わず生きる純朴で心の優しい彼でしたが、精神は未成熟のまま知能だけがどんどん肥大化していき、次第に周りの人々を見下す傲慢な性格になってしまいます。また、友達の馴れ合いだと思っていたことが、実は自分を馬鹿にしていたという事実気付いてしまった彼は、今までの知能では感じ得なかった憤りや困惑に苦しみ、孤独を深めていきます。そして、知能のピークを迎えた彼は、自分が受けた脳外科手術に致命的な副作用があることに気付いてしまい…。

この作品は一見敷居が高く、難解なタイトルに思えてしまうかもしれませんが、最初の読み難い部分さえ抜けてしまえば、とても読みやすい一冊でした。読書感想文の苦しんでいる学生や、小説の話題でネタに困っちゃうという読書不精のみなさんにお薦めします。



ダニエル・キイス：著  
早川書房

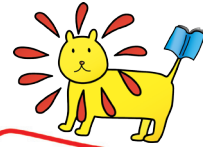


山中 勇人（やまなか はやと）

文化活動推進課総務班。リぶら2階の奥にある事務室で勤務しており、一般的な庶務に加え、窓口対応や自主事業の運営等を担当しています。3月22日（日）には、Beanzzの子どものための1年の集大成である定期コンサートを、リぶらのホールで開催します。皆様のご来場を、メンバー一同心よりお待ちしております。



# りぶらの防災



東日本大震災からまもなく4年を迎えます。りぶらサポータークラブでは、あの震災以降、りぶらで活動する団体として、緊急時の対応について考えてきました。そこで、まず毎年行われているりぶらの防災訓練に参加させていただき、大勢の市民活動団体が参加する「りぶらまつり」の実行委員会の中で、昨年に続き「防災講座」を開催しました。また今年度は、「シネマ・ド・りぶら」の上映会でも、6月と9月に上映中の非常時の対応についてご案内させていただきましたので、以下にその内容をご案内します。

## 【りぶらの防災訓練】

毎年2月に休館日を利用して、職員と嘱託職員・指定管理者職員・関係市民活動団体など、ほぼ関係者全員で「避難訓練」が行われています。来場者の誘導や連絡、消火機器・AEDの扱い方などを学んでいます。

## 【りぶらまつり実行委員会での防災講座】2014.10.5

### ①防災・危機管理アドバイザー・川田昇司氏のお話

「りぶらまつり」の実行委員として、また市民活動団体の主催者として「加害者」にならないこと、イベントへの参加者として「被害者」にならないことが重要です。そのためにすることは以下の3つです。

1. 消火器や消火栓などの管理を妨げない。
2. 非常口や避難路の空間を確保する。
3. いざという時には、なにはさておき自分が落ち着く。

では、活動時に何に気をつければいでしょうか。

1. 「消火器」や「消火栓」の周りに、物を置かない（防火）。
2. 「非常口」の付近や「通路」に、物を置かない（避難）。
3. いざという時は、「落ち着いてー！」と叫ぶ（避難）。

実際に、「指差し呼称」をやってみましょう！

消火器、ヨシ！ 非常口、ヨシ！ 避難路、ヨシ！

### ②岡崎市防災危機管理課 河合次長のお話

5月30日に南海トラフ巨大地震被害想定が発表されました。

A 理論上最大モデル：1000年に一度起こりうる想定

岡崎市の被害者 700人 建物 16,000棟

B 過去最大地震モデル：150～200年間にありうる地震の想定

岡崎市の被害者 100人 建物 3,900棟

岡崎市内で六ツ美、矢作地区は震度7以上が想定されています。

防災には自助・共助が大事で、コミュニケーションが欠かせません。東北の地震の時も、8割の人が隣近所の人に助けられ

ています。また、学校の生徒数3,000人で、一人の犠牲者もなかった釜石の奇跡があります。群馬大学片田敏孝教授による、①想定にとらわれない、②最善を尽くせ、③率先避難、を学校での訓練に取り入れ、地震の時に実践して助かっています。

「想定にとらわれるな」では、津波の来る場所が想定されたものより奥まで来ると考え、学校の建物の上から避難所へ、避難所から山のほうへ逃げました。学校も避難所も浸水し、結果的に助かりました。「最善を尽くせ」では、以前の「押すな、駆けるな、しゃべるな」のスローガンが、「あきらめるな、他人任せにするな。全力で走ろう、大声で知らせよう」と代わっています。「率先避難」は、自分が逃げることで周りの人も気づき、結果的に周りの人の命も救う、自分一人で逃げるためには日ごろから必要な情報を習得しておくことが必要、日ごろから家族で話し合っておくことが大切ということです。

このようなことは日ごろの訓練で経験しておくことが必要です。震度4に対する訓練ではなく、震度6～7に対する訓練でなくては役に立ちません。また、各自・各家庭での避難方法があり、岡崎では151,000通りの避難方法があります。ですから、「この避難方法は最善か？」を常に考えておく必要があります。

上記のお話を踏まえて「りぶらまつり」では、各企画者の代表が、「指差し呼称」で当日のまつりに臨みました。また、それぞれの団体の活動時にも防災の話を取り入れたところもあり、非常時対応についての認識の重要性が広がっています。

## 【「シネマ・ド・りぶら」での非常時対応のご案内】

毎回ほぼ満席なる映画の上映会ですが、平日の日中ということもあり、来場者の平均年齢は高齢です。そこで、上映中の地震や火事を想定して、職員とホールスタッフの協力も仰ぎ、停電になったときの状況や、館内アナウンスを体験いただきました。

私たち市民活動団体は、様々な形で「りぶら」に関わっています。また、そのほかの公共施設での活動も多彩です。公共施設では、職員の指示に従い慌てないで行動することが基本ですが、日頃の活動の中で、非常口の確認や消火器・消火栓・AEDの設置場所などを確認しておくことも大切です。およそ災害は想定外で起こることですが、団体の主催者としても個人としても、防災の知識を持っていることに越したことはないと思います。そのための知識を得る場所としての「図書館」でもありますね。